

研修名	緊急時の校内放送や緊急通報に関する研修 (緊急時対応カードの活用)	＜効果的な実施時期＞ 年度始め
------------	--------------------------------------	--------------------

1 研修目的

各学校の危機管理マニュアルを基に作成した「緊急時対応カード」を活用し、校内放送の仕方や緊急通報の流れを確認するとともに、全教職員が緊急時に迅速かつ適切に行動できるようにする。

2 研修の概要

「緊急時対応カード」を活用したシミュレーション研修を通して、緊急時における校内放送の仕方や緊急通報の流れを確認するとともに、組織としての動きや対応について共通理解を図る。

3 進め方のポイント

- (1) 危機管理マニュアルの読み合わせを行い、管理職や養護教諭不在時においても、誰もが迅速かつ適切に対応できるよう、校内での安全管理体制について共通理解を図る。
- (2) グループごとに役割分担を行い、「緊急時対応カード」を基にシミュレーション研修を行う。
※本資料では、「不審者対応マニュアル」を基にした研修事例を提示している。各校の実情に応じて、火災発生時や傷病者発生時のシミュレーション研修にも応用できる。
- (3) 短時間で共通理解が図れるよう、経験年数や学年所属等を考慮したグループ編成を行う。
- (4) 職員室の電話や校内放送設備の近くに、「校内放送・緊急通報マニュアル原稿」を掲示し、緊急時には全教職員が冷静に放送（通報）できるようにしておくことよ。

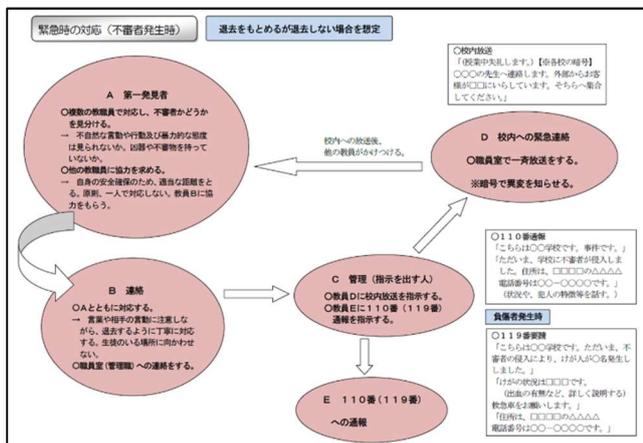
4 準備物

- 進行スライド (※各学校の実情に応じて修正可能)
- (各校の) 危機管理マニュアル
- 緊急時対応カード (自校化したもの)
- 校内放送・緊急通報マニュアル原稿 (自校化したもの)
- アンケート用紙



5 研修のイメージ

緊急時の対応【フローチャート】(例)



緊急時対応カード (例)

<h1 style="margin: 0;">A 第一発見者</h1>	<p>○複数の教職員で対応し、不審者かどうかを見分ける。 → 不自然な言動や行動及び暴力的な態度は見られないか、凶器や不審物を持っていないか。</p> <p>○他の教職員に協力を求める。 → 自身の安全確保のため、適当な距離をとる。原則、一人で対応しない。教員に協力をもらう。</p>
---	--

表面

裏面

6 研修に参加した先生の声

○職員室の電話や内線電話からでも、全校に向けて校内放送ができることが分かった。
緊急時の校内放送や電話の掛け方・手順など、実際に使用したことがなかったので、再確認できて良かった。



7 研修の進め方（例）【15分】

時間	内容	進め方	資料等
導入 (5分)	1 緊急時における校内での動きや流れについて確認する。【一斉】	○本研修会の流れや目的を伝える。 ○危機管理マニュアルの読み合わせを行い、緊急時における校内放送や緊急通報までの動きや流れについて、教職員間で共通理解を図る。	進行スライド(1-3) 資料1
展開 (7分)	2 「緊急時対応カード」を活用し、シミュレーション研修を行う。【グループ】	○事前に準備していた「緊急時対応カード」を基に、シミュレーション研修を行い、校内放送や緊急通報の仕方や流れ等について確認させる。 ○グループごとに役割分担を行い、担当を変更して複数回実施する。	進行スライド(4-10) 資料2 資料3
<p><役割分担> ※必要に応じて、不審者役の職員を配置することも可能。 A：第一発見者 → 不審者かどうかを見分け、他の職員に協力を求める。 B：連絡 → 職員室（管理職）に連絡する。Aと共に対応する。 C：管理 → 校内放送や緊急通報の指示をする。 D：校内放送 → 校内へ一斉放送を行う。 E：通報 → 110番、119番通報を行う。</p>			
まとめ (3分)	3 アンケート用紙を記入し、研修の振り返りを行う。【個人】	○研修を通して気付いた点や改善点等をアンケートに記入させ、次の研修に生かす。 ○アンケート結果は集約後、後日提示すること伝える。	進行スライド(11) アンケート用紙

<活用資料>

- （資料1）「(各校の) 危機管理マニュアル」
- （資料2）「緊急時対応カード（自校化したもの）」
- （資料3）「校内放送・緊急通報マニュアル原稿（自校化したもの）」